

投資型クラウドファンディング・セミナー 講演録

1. 主催者代表挨拶

日本証券業協会 副会長 森本 学



本日はお忙しい中、大勢の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。主催者を代表して、一言御挨拶を申し上げます。

ちょうど昨日、メルカリが東証マザーズに上場し、大いに投資家の注目と期待を集めたところでございます。ただ、残念ながら、我が国にはメルカリのような成長企業が少ないことも、同時に指摘されております。この原因の1つとして、我が国はスタートアップ企業に対して、資金が集まりにくい環境にあるということが言われております。

本日のテーマである投資型クラウドファンディングは、地域の成長企業などに対するリスクマネーの供給を促進することを目的として、近年に制度が整備され、株式型については昨年からは実際の取扱いが始まった、新しい資金調達ツールであります。

日本証券業協会は、第二種金融商品取引業協会とともに、この投資型クラウドファンディングの自主規制を担うとともに、その適切な活用に向けて、周知・広報活動を行っています。

投資型クラウドファンディングは、地域の成長企業へのリスクマネー供給という意義のほか、共感に基づく投資という、投資の原点を体験することで、より広い証券投資への関心を喚起する効果があるのではないかと考えております。

また、現在、日本証券業協会が推進しているSDGsの目標の一つである「起業、イノベーションへの支援」という目標の達成にも資するという、社会的な貢献の意味もあると考えています。

今回のセミナーは、投資型クラウドファンディングがある程度実績を積み上げたこのタイミングで、その活用事例を紹介するとともに、この制度の更なる活用の可能性を探りたいという考えのもとで開催いたしました。

本日のセミナーでは、各方面から素晴らしい方々に御出席いただき、講演や議論を行っていただく予定であります。そうした方々の知見や問題意識が皆様と共有され、投資型クラウドファンディング制度の利用拡大やリスクマネーの供給促進につながることを期待しております。

最後に、本セミナーの開催に当たりまして、御協力いただいた皆様方に改めて感謝の意を表しますとともに、本日のセミナーが皆様方にとって有意義なものになることを祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。